

平成28年5月13日

お客様 各位

到津の森公園

熊本市動植物園よりお預かりしたアムールトラ（チャチャ）について

平素は、到津の森公園に格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度の「平成28年熊本地震」により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、当園では、平成28年4月18日に、公益社団法人日本動物園水族館協会を通じて、「平成28年熊本地震」により被災した熊本市動植物園にて飼育しているアムールトラ1頭（チャチャ・メス・5才）を、緊急避難として受け入れてほしい旨の要請を受け、4月23日に、熊本市動植物園からの搬入を完了いたしました。

これまでに経験したことがない強い揺れ、継続して発生する余震、その後の長距離の輸送、そして当園での新たな環境。4月14日の最初の地震以降、この短期間に、チャチャにどれほどのストレスが掛かっていたかは、想像に難くありません。まずはゆっくりと落ち着かせてあげたい。それが、チャチャに対する当園の方針です。

チャチャの搬入後、多くの皆様から、今後の公開についてお問い合わせをいただいておりますが、今回は、これについて現時点での当園の検討状況をお伝えいたします。

1 新しい環境への適応状況

当園のトラ舎には、寝室が2つあります。当園で元々飼育しているアムールトラ（ミライ・メス・5才）が使用している寝室のもう一方が空いていますので、現在チャチャは、その空き寝室に収容しています。まずは何よりも、新しい環境に慣れてもらい、落ち着いて生活してもらうことを最優先に飼育管理に取り組んでいく考えですが、そのためには、チャチャの体調面・行動面等を、ゆっくりと慎重に見極めていく必要があります。

現在も、例えば、日によって餌の摂取量が異なったり、多少興奮している様子があったり、周囲を警戒している様子があったりと、若干体調面・行動面等に変動がある状況ですので、引き続き注意深く見守っているところです。

2 運動場での公開までのプロセス

当園のトラ舎の運動場でチャチャを公開するためには、その構造的な理由等から、運動場に慣れるための一定の訓練が必要となりますが、その訓練は、動物に対して一定のストレスも与えてしまいます。この短期間に計り知れないストレスを受けてきたと思われるチャチャに対して、さらに新たなストレスを与えてしまう可能性があります。

当園のトラ舎の運動場は、熊本市動植物園のトラ舎の運動場と大きく構造が異なります。いずれ熊本市動植物園にお返しするチャチャに対して、その運動場に慣れるための訓練を実施するか否かという点を含めて、引き続き状況を見極めながら、慎重に検討していかねばならないと考えています。

3 ミライとの関係

トラは、通常縄張りを持ち、単独行動をする動物です。ですから、ミライと同性のチャチャを2頭一緒に運動場に出すことは、闘争等の危険を伴う場合も考えられます。チャチャは、熊本市動植物園からお預かりしている大切な財産ですので、現在のところ、チャチャとミライを一緒に運動場に出すことは考えていません。

また、現在の当園の運動場内は、ほぼミライの縄張りと言ってよい状態です。その縄張り内での公開は、少なくとも今のチャチャにとっては、さらなるストレスとなる可能性があります。この点からも、チャチャの運動場での公開は、引き続き慎重に検討していかねばならないと考えています。

以上のようなことから、現在当園では、チャチャを性急に運動場に出して公開することは考えておらず、当分の間、寝室とその外縁部分（いわゆるバックヤード）で生活をしてもらおうと考えています。この後、熊本市動植物園にチャチャをお返しするその日まで、できる限りストレスを与えないようにしたいと考えています。

なお、バックヤードでの生活ということになりますと、通常は皆様にご覧いただくことができませんので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ただ、大変多くの皆様に気に掛けていただいているチャチャを、今後も全くの非公開とすることは、私どもも本意ではありません。今後は、チャチャの体調等を慎重に見極めながら、日時や人数等を制限させていただく可能性はありますが、バックヤードでの公開ができないかを検討していく予定にしています。正式に決定した際は、また皆様にホームページ等でお知らせいたします。大変申し訳ございませんが、それまでしばらくお待ちください。

今後とも、到津の森公園を何卒よろしくようお願い申し上げます。